



ぬまざわ議会 ニュース

〔発行所〕 公明党川崎市議団
〔発行人〕 ぬまざわ 和明

〔連絡先〕 〒212-0055 川崎市幸区南加瀬 5-38-2-215
電話 (044) 599-3984 FAX (044) 588-3222

川崎市決算審査特別委員会で質問！！

◎現場到着から病院まで迅速な救急搬送を！！



平成21年の救急搬送人員は平成18年と比較して、市立川崎病院では4311人から7011人、民間の幸病院でも2719人から4013人へと大幅に増加しています。また本市は救急車の現場待機時間が全国ワースト1であり、大病院集中型になっていることから救急搬送の改善を求めました。

健康福祉局長は、本年9月から「川崎スタンダード」を導入し搬送車両などから必要最小限の情報を病院に提供することにより、受け入れの可否を3分以内で行えるよう整備したと答弁しました。沼沢議員は川崎スタンダードが確実に実施されるよう要望しました。

又、大病院への搬送集中を緩和させるために、民間救急病院に対する補助金（年額一律90万円と搬送人員・一人当たり2000円）を増額させ、より受け入れを誘導させるよう求めました。

三浦副市長は「救急搬送受け入れ件数の推移を見極めながら今後とも必要な予算の確保に努める」と答弁しました。

質問の中で市立井田病院が今年度中に救急病院として認定を取得することが明らかになりました。



◎発達障がい児童・生徒に電子（デージー）教科書を！！

本を読むことに困難を抱えている子どもたちにデージー教科書の活用を求めました。

この教科書はパソコンなどを活用し、文章を自動的に読み上げながら箇所を色で強調し、文字の大きさや読み上げ速度も調整できるもので、内容の理解を促す効果があります。

公明党の働きかけで8月からインターネットの配信提供が可能になったことから、本市での取り組みを質しました。

教育長は「ハード面のパソコンの環境は全学校で整っておりデージー再生用ソフトウェアを全校にこの秋に導入する。また学校に対してデージー教科書の周知を図り、教員に対しても申請方法や使い方の情報提供を行う。今後はこの教科書の有効な活用のあり方を研究していく」と答弁しました。

同様の困難を抱えている子どもさんをお持ちの父兄のかたからも活用の声を挙げていってください。



市政にあなたの声を!!



ごあいさつ

決算審査特別委員会が終わりました。現場待機時間が長すぎる救急搬送についてと発達障がい児童等に有効であるテイジー教科書について質問。手ごたえのある答弁を引き出しました。

今後も市民の立場に立って、提案や議会質問を行ってまいります。

学校芝生化進行中!!

PTAのかたの協力を得ながら進めています。



◎県外の私立高校に通う生徒にも補助金を!!

神奈川県は、高校無償化法案による授業料の減免（年間11万8800円から23万7600円）に加えて、県内在住で県内私立高校に通う生徒の入学金・授業料を所得金額に応じて年額3万円から約18万円まで支給しています。

現在の受給者は全県で約18000人、市内対象者は874人でしかなく、市内からの県外私立高校進学者は、2165人の23.7%で県内他都市と比較して突出していることから、同じ県内在住者に学費補助格差が生じていることを指摘し、取り組みを質しました。

教育長は「補助制度の対象者を県外校の進学者まで拡大するよう神奈川県市町村教育長連合会を通じて要望している。」と答弁しました。



©NEW KOMETTO

《全国隣時警報システム（Jアラート）導入へ!!!》

大規模災害時に消防庁から通信衛星で各自治体に情報配信されるシステムがJアラートです。本市には未設置であることから導入へ向けての取り組みを質しました。

総務局長は「現在他都市で導入されているシステムより高度な第3世代の受信機を導入する。消防庁が供給準備を進めていて供給が始まり次第設置していく」と答弁しました。

設置後は、受けとった情報を防災行政無線やエリアメール等でいち早く住民に伝達するシステムの確立に取り組んでいきます。



©NEW KOMETTO

【保育ママ募集中】

家庭保育児預かり事業が拡大されます。看護師または保育士（経験者含む）が自宅以外の場所のマンションやアパートを賃借し、1人あたり3人まで、1歳から3歳までの乳幼児を預かる事業に対して賃借料を補助します。補助員も配置され、こども1人あたり約9万円が支給されます。初年度は市内3か所程度の整備を予定しています。

介護・住宅・医療など

暮らしの相談お気軽に！

TEL(599)3984
Fax(588)3222

Mail to k-numa@numa-k.com